

3) 排水装置及び添架管撤去

表 1-3 排水装置及び添架管撤去歩掛

(10m 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.3
特 殊 作 業 員		人	2.0
普 通 作 業 員		人	1.0
クレーン付トラック運転	4 t 積 2.9t 吊	日	0.5
諸 雑 費 率	労務費の 30%	式	1.0

(注) 1. 諸雑費は、鋼製管等で吊下げ装置・横取装置等の使用する機材の費用・ガス切断機、酸素、アセチレン及び空気圧縮機の損料・燃料・油脂等の費用を含み、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

また、塩ビ管等の軽量で人力による支持・確保による撤去が可能な場合は、撤去長さ 10m を 1m に換算する。

2. 現場条件及び添架管等の重量により吊り上げ機種が上記規格により難しい場合は、別途考慮する。

3. 排水装置及び添架管撤去で生じた現場発生品については、別途適正に運搬・処理すること。

表 1-3-1 日当り施工量

(1 日当り)

日当り施工量	単 位	数 量
排水装置及び添架管撤去	m	20

表 1-5 床版カッタ工法による部材切断歩掛（グレーチング床版・デッキプレート等）（10m 当り）

名称	規格	単位	切断深さ		
			~20cm	~25cm	~30cm
世話役		人	0.13	0.19	0.25
特殊作業員		人	0.38	0.56	0.75
普通作業員		人	0.38	0.56	0.75
クレーン付トラック	4t 積 2.9t 吊	日	0.38	0.56	0.75
カッタブレード損耗費	φ750mm	枚	0.44	0.64	0.86
	φ1,060mm	枚	—	—	—
諸雑費率	労務費の30%	式	1.00	1.00	1.00

- (注) 1. 本歩掛は、グレーチング床版・デッキプレート及び鋼板補強・補修されている床版の切断に適用する。
 2. 諸雑費は、コンクリートカッタ運転、水タンク・ホース、ほうき等の費用で、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 3. 切断深さはコンクリート床版厚さとしアスファルト舗装の厚さは含まない。ただし、コンクリート舗装・調整コンクリートは厚さに含む。
 4. 切断水に対する防護等が必要な場合は別途計上する。また、施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。
 5. 床版をクレーンで吊りながら切断していく場合は作業効率が低下するため、切断深さに関係なく一律、上記表で算出した金額に対し50%の割増を行う。
 割増による金額=表1-5での算出金額×150%

表 1-5-1 日当り施工量（グレーチング床版等）（1パーティ当り）

日当り施工量	単位	数量
切断深さ 20cm まで	m	26.3 (17.5)
切断深さ 25cm まで	m	17.9 (11.9)
切断深さ 30cm まで	m	13.3 (8.9)

- (注) 1. 上表は、床版の切断が直線的に行える場合の施工量である。
 2. 床版ブロック撤去などで、撤去部材をクレーンで吊りながら切断していく作業の場合（地覆等、及びコンクリート橋の床版）の日当り施工量は、上表（ ）書きの数量を日当り施工量とする。ただし、床版ブロック撤去の適用は、切断深さ30cm までとする。

2) ワイヤソーイング工法

厚さが 30cm を超える床版・張出床版・地覆・横桁等カッタの適用が困難な部位の切断及び騒音・振動が規制され大型ブレーカ等が使用できない位置のコンクリート切断に適用する。

表 1-6 ワイヤソーイング工法切断歩掛（10m² 当り）

名称	規格	単位	数量			
			A	B	C	D
世話役		人	0.5	1.0	1.5	3.0
特殊作業員		人	1.5	3.0	4.5	9.0
ワイヤソーイング駆動機械損料	表 1-6-1	日	1.0	2.0	3.0	6.0
ダイヤモンドワイヤー消費費	表 1-6-1	m	10.0	12.0	15.0	18.0
諸雑費率	労務費・機械損料合計額の25%	式	1.0	1.0	1.0	1.0

- (注) 1. 上表には、ダイヤモンドワイヤー貫通用削孔は含まない。必要な場合は、別途計上する。標準径はφ50mm とする。
 2. 諸雑費は、駆動機燃料・油脂類、給水用ホース、ダイヤモンドワイヤージョイント圧着プレス機、プレス機用ポンプ、ワイヤカッタ、高圧洗浄機、シャーリング、アンカー、ハンマドリル、修理工具、電工ドラム等の費用であり、労務費・機械損料合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 3. 切断水に対する防護等が必要な場合は別途計上する。また、施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。
 4. 下部工の部材解体などで水中切断する場合は、別途考慮する。
 5. 高強度コンクリート（ファイバーコンクリート等）を切断する場合は、別途考慮する。

4. 機械運転単価表

1) 適用機械

上部工撤去

機 械 名	規 格	適 用 単価表	指 定 事 項
トラック (クレーン装置付)	4t 積 2.9t 吊	機-18	《鋼製伸縮装置縁切/照明装置撤去/排水装置及び添架管撤去》 《床版カタ工法》 運転労務数量 →1.00 (特殊運転手) 燃料消費量 →28 (軽油) 機械損料数量 →1.07
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) クレーン 2.9t 吊	機-18	《補修材取剥し》 運転労務数量 →1.00 (特殊運転手) 燃料消費量 →57.96 (軽油) 機械損料数量 →1.00

下部工撤去

機 械 名	規 格	適 用 単価表	指 定 事 項
小型ブレーカ運転	油圧式 210kg 小型バックホウ 0.2m ³ 級	機-31	《小型ブレーカ破碎》 運転労務数量 →1.00 (特殊作業員) 燃料消費量 →41 (軽油) 賃料数量 →1.56
小型ブレーカ運転	油圧式 170kg 小型バックホウ 0.1m ³ 級	機-31	《小型ブレーカ破碎》 運転労務数量 →1.00 (特殊作業員) 燃料消費量 →27 (軽油) 賃料数量 →1.56
発動発電機	ガソリン駆動 2kVA	機-16	《コンクリートアンカー取付》 燃料消費量 →6.5 (ガソリン) 賃料数量 →1.30